

蓮沼中学校・松尾中学校統合準備委員会 第1回 代表者会議 要点記録

1. 日 時	令和2年12月4日 17時30分から18時34分
2. 場 所	松尾ふれあい館
3. 出席部会員	14名(欠席1名)
4. 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 総務部会 (2) P T A・通学部会 (3) 学校運営部会 4 協 議 (1) 統合校の校名候補の選定について (2) 通学方法について 5 その他 (1) 今後のスケジュールについて (2) その他 6 閉 会
5. 事務局	学校再編推進室

協議概要については以下の通り。

報告事項

【事務局 資料に基づき説明】

- ・これまでの会議の開催状況について説明
- ・今後の予定について説明

【発言の概要】

≪総務部会≫

- ・総務部会は8月21日、9月23日、11月27日の3回の協議を行い、主な議題として「校名候補の選定」について協議してきた。
- ・第1回総務部会では、校名候補は公募することとし、公募範囲は蓮沼中学校区、松尾中学校区の地域住民を対象とすることとした。
- ・第2回総務部会では、公募案募集用紙を確定させた。
- ・第3回総務部会では公募された校名公募案の協議の結果、校名候補案を選定した。この案をもって統合準備委員会に報告したい。

《 P T A ・通学部会 》

- ・ P T A ・通学部会は 9 月 8 日、10 月 12 日、11 月 6 日の 3 回、開催し、主な議題として「通学路・通学方法」について協議してきた。
- ・第 1 回の会議では、通学路・通学方法についての共通理解、地域の危険箇所等も含めた通学路交通安全プログラムの進捗状況の確認を行った。
- ・第 2 回目では、通学路の状況、松尾中学校の自動車での送迎の状況について共通理解、自転車、公共バス、通学バスを活用しての通学の検討をした結果、主に、蓮沼中学校の学区の生徒が遠距離通学となることから、通学バスの導入の方向性の共通理解が図られた。
- ・第 3 回目では、第 2 回 P T A ・通学部会において、通学バス導入の方向性の共通理解が得られたことから、統合準備委員会全体会議及び教育委員会への報告内容について協議し、内容は「通学バスを導入する」「通学バスの導入にあたり対象となる生徒は、統合することによって遠距離通学となる蓮沼地区の生徒を乗車対象とする」とした。
- ・今後は、バスの路線、時刻表等について、協議を進める。
- ・その他、P T A 組織については、両校の会則の比較などを行った。
- ・制服・体操服・ジャージについては、両校の現在の制服を確認した後、制服・体操服・ジャージを統合を機に新しくすることを基本とするが、その方向性については、生徒・保護者向けにアンケートをはかることとした。

《 学校運営部会 》

- ・学校運営部会は 10 月 28 日に開催した。
- ・協議事項として、令和 3 年度の年間行事の見通しを両校で確認した。令和 3 年度の行事を踏まえて、令和 4 年度の主な行事について協議した。3 年生の修学旅行、2 年生の自然教室、体育祭について時期を含め、計画を立てている。
- ・閉校記念行事に向けての協議も行い、令和 3 年度は各学校で閉校記念行事も行っていくことから、今から閉校記念事業実行委員会の立ち上げの準備が必要になることの確認をした。
- ・両校での集金方法や会計処理に若干の違いがあったので、そのことについて P T A ・通学部会にも示しながら、令和 4 年度からの新校での会計処理について進めていきたい。
- ・校則について、今後、両校の校長、生徒指導主任等の意見も交えた協議をし、その中で、上履き、通学バック等についても、学校運営部会で検討する。
- ・その他、開校式・入学式、統合校での教室配置、始業時刻、部活動、学校備品など、今後も協議を進めていく。

《 質問 》

- ・ P T A ・通学部会の、制服のタイプの共通理解についてだが、制服についてアンケートをするという話はどうなったのか。

- （事務局）アンケートについては、現在中学校に案を確認していただいているところである。
- アンケートの設問は4択を考えている。既存のセーラー服と詰襟、素材等を新しくしたセーラー服と詰襟、ブレザー、スーツ型の4択である。年内にPTA・通学部会の皆さんにアンケート案を送るので、見ていただいて、意見を反映したものを年明けに実施したい。
- ・制服の最終的な決定はいつになるのか。
 - （事務局）決定の日程はどのような手順を今後踏むのかで変わってくる。既存のものを基本とするのであれば早期に決定する。前回の会議では新しくするという流れだった。そうすると、プレゼンテーションを行う等、調整が必要になる。
- ・早く決めないと業者が間に合わない。現在の両中学校の在庫の処理等も対応する必要がある。新しくするのであれば、作りたいという業者が多く出ると思うので、対応が早急に必要になり、大変になってくる。
- ・通学バスは業者を考えているのか。それとも既存の循環バスを利用するのか。
 - （事務局）循環バス等は利用が難しいとの議論があった。新たに統合中学校に通うようになる生徒を対象に、バス停や路線はまだ決まっていないが、業者に依頼してバスを出すという案をPTA・通学部会では持っている。
- ・雨が降ったときに大平地区の生徒が乗りたいと言った際、はっきりと断れるのか。そのあたりも検討していただきたい。
 - （事務局）PTA・通学部会の中で、大平地区の生徒については、自転車で通学が可能という議論があったが、そのあたりについては検討していかなければならない。
- ・部活動については具体的な議論はあるか。
 - （学校運営部会長）具体的な話はしておらず、両校にどのような部活があるかの共通理解をしたところである。
- ・蓮沼小学校から統合校に進学する生徒や、大平小学校もそうだが、部活動は多くの生徒の興味関心があるところで、多くの場面で話題になっていると考える。最終的にどうすれば良いかを生徒や保護者、学校と考えて、部活は無制限にできるものではないので、どこまでできるか検討していただきたい。
- ・（事務局）現在片方の中学校にしかない主な運動部は、蓮沼の男子バレーボール部で、蓮沼中学校の運動部では一番部員が多いので、両校ですり合わせをする必要がある。そのほかにも文化部があれば良いとの意見もあった。
- ・部活動について、人口減少のためこのままの形態を続けていくのは困難だと考える。他の地域で行っているような、クラブ活動の発足や補助について考えているか。
 - （事務局）部活動は学校の裁量で行っているなので、学校の中で動いていただきたい。それとは違うものだと考えている。社会体育の話だと思うが、スポーツクラブについては他の課と連携していかなければならないと考える。

- ・部活動は衰退すると考える。個人的には部活動が好きなので、部活動は残していただきたいと考えている。しかし背景を考えると難しい。近未来的に考えていくと、スポーツのクラブチームを教育委員会が支援することを含めて検討していただきたい。
- （事務局）国の方針だと思うが、部活動指導員を増やすという動きがあるので、その中で仰ったようなことがリンクすると考える。
- ・部活動については今のところ、指導者の問題はあるが、学習指導要領の中では教育活動の一環である。
- ・近未来的には部活動が減っていくと思う。それは行政の人口減少に歯止めをかけるところにリンクすると思う。スポーツに触れる機会の均等のため、前もって対策をしていく必要があると考える。

（１）統合校の校名候補の選定について

【事務局 資料に基づき説明】

○校名候補案について説明

【発言の概要】

- ・校名候補の選定について意見が述べられた。
- ・総務部会で選定した校名候補案について、全体会議に諮ることが採決された。

（２）通学方法について

【事務局 資料に基づき説明】

○通学方法の報告案について説明

【発言の概要】

- ・蓮沼地区が６ｋｍ以上の通学になると言っていたが、例えば大平地区の遠い方は６ｋｍくらいあるのではないか。
- （事務局）大平地区の一番遠い生徒は折戸で６ｋｍほどになる。豊岡地区にもそれぐらいの距離の生徒がいる。
 ６ｋｍという基準は文部科学省の手引きから抜粋したものである。国では中学校で概ね６ｋｍ以内という基準を、公立小中学校の施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として定めていることから、通学条件を通学距離としてとらえることが一般的となっているので、この基準を提示した。これを共通理解したうえで通学について話合ってもらい、その中では大平地区の生徒はこれまで通り、自転車で通えるとのことであった。今のところＰＴＡ・通学部会では蓮沼地区の生徒を乗車対象として、採決をした。
- ・豊岡の山室は遠くないのか。
- （事務局）５.５ｋｍである。
- ・蓮沼地区の中には６ｋｍない生徒もいるはずである。バスの乗車対象を蓮沼地区で制限するのも、距離で制限するのも心配である。道によっては距離が変更するので、細かに対応

していただきたい。現在は学区があいまいになっているということもある。

- （事務局）今後バスの路線を考えていく中で、この辺りがバス停になってくるという議論になると考える。今までの議論からすると、蓮沼中学校の近くに1箇所を集めてバスに乗せたほうが、時間的にも通学路の整備の面でも、今まで通っているわけなので、それほど心配しなくても良いという議論があった。しかしバスの転回場所を考えると、バスの循環路線を考えないといけない。その中で、大平の生徒も拾えるなら対応もできると思う。そのあたりについてはPTA・通学部会で諮る必要がある。
- ・そうなると、どこに集めるのが難しい。例えば蓮沼交流センターに集める場合、何時に解散すれば部活動に対応できるのか、横芝寄りの生徒は距離もある。
- （事務局）そのあたりは検討したいと思う。大平の生徒を対象にするとするとPTA・通学部会案が変わってきてしまう。
- ・通学バスの導入については賛成である。基本的には統合によって蓮沼地区の生徒は通学距離が延びるので、そこをカバーするためにバスを導入するのだと思う。大平地区の生徒は今まで通学できているので、蓮沼地区の生徒を対象にするのが良いと考える。
- （事務局）通学バスについては統合によって遠距離になる生徒を対象にするということなので、PTA・通学部会案はこのようになっている。
- ・統合によって新しい中学校になるので、新しくできた学校に対して、遠距離の生徒をバスに乗せる方が筋が通っているので、大平の生徒を対象にするべきではないか。今後、松尾地区に7kmを越える生徒が出てきても乗せないということになってしまう。
- PTA・通学部会で協議した中で、松尾の生徒は今まで通り自転車通学で、蓮沼地区の生徒はバスの対象にすると決まった。
- ・細かい話は今後決まると思うが、報告案で「蓮沼地区を対象とする」と言い切る必要はないと感じる。
- （事務局）今日の会議は報告案の共通理解を図る場なので、もし意見があるのであれば来週の全体会議で協議する必要があると考える。
- ・では次の全体会議の中では細かいところは決まらないのか。
- （事務局）そうである。
- ・全体会議の中で、報告案の内容についての議論になるのか。
- （事務局）全体会議の中であれば、決を採ることが出来ると思う。
- ・（委員長）他には意見はあるか。
- 発言なし。
- ・（委員長）それでは採決を採ろうと思う。PTA・通学部会案に賛成の方は挙手をお願いする。
- 挙手多数。
- ・（委員長）この件は採決された。

(3) その他

【事務局 資料に基づき説明】

○12月10日に統合準備委員会全体会議を開催し、本日確認された内容について協議していただく予定である。

○統合準備委員会全体会議でご承認いただいた後に、準備委員会としての決定事項ということで、委員長と副委員長名で教育委員会にご報告いただき、教育委員会で協議した後に、3月に開催される市議会に提案していく予定である。

【発言の概要】

- ・教育長にもお話しをさせていただいたのだが、統合の延期は検討していないのか。
 - （事務局）現在のところそういった話は出ていない。
- ・来年度の統合を見越した就学学区外の通学については可能か。
 - （事務局）統合を目的とした就学学区外の通学は現在では認められていない。しかし他の理由で就学学区外の通学をしている事実はある。
- ・実質、統合を理由に就学学区外の通学をしている例もあると思う。そもそも蓮沼と松尾の統廃合であり、成東東中学校の方が近い生徒もいるので、学区の見直しも検討しないといけないと思う。統廃合をするとこういったことも生じてくる。

学区の見直しと期間の延期を検討していかないと、平等ではないと感じるしそういった声も聞く。近くの中学校に部活動を理由にしないでも行けるようにしていただきたい。時間がかかるのであればかけていただきたい。我々は地域の意見を背負ってこの場にいる。少しの意見でも耳をかたむけてほしい。

 - （事務局）ご意見として伺いたいと思う。
- ・学区変更ではなく、地区変更であれば難しくないと思う。
 - （事務局）意見としていただきたいと思う。
- ・（委員長）それでは、このスケジュールで進めていこうと思う。
- ・（事務局）12月10日には、松尾ふれあい館多目的ホールにおいて、統合準備委員会全体会議を開催する。

そこでは、本日、各専門部会長から報告があったこと、および協議したことを報告申し上げ、統合準備委員会として意見のまとまりを図る予定である。

【まとめ】

- ・各部会から報告のあったとおり、「統合校の校名候補の選定について」と「通学方法について」、原案のとおり全体会議へ提出する。